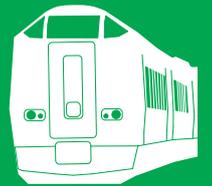


公共交通を守っていくために



宗谷本線の歴史

旭川〜名寄間は、天塩線として建設され、旭川から名寄に向かって段階的に開業しながら1903年（明治36年）に全線が開業しました。

名寄〜稚内間は、天塩線、天塩南線、天塩北線として建設され、1926年（大正15年）に稚内までの全線が開業しました。

その後、路線の編入・分離・改称を行い、1930年（昭和5年）に現在の宗谷本線となりました。

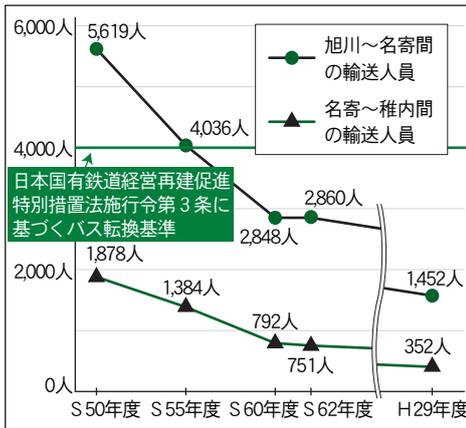


開業当時の名寄駅の様子

鉄道の利用状況

旭川〜名寄間の輸送人員では、昭和50年と平成29年の比較で、約4分の1に減少し、名寄〜稚内間の輸送人員で見ると、約5分の1に減少しております。原因としては、この区間の人口減少や、自動車の普及、高規格道路の整備などにより、移動手段が自動車にシフトしていると考えられます。

しかし、現在の宗谷本線は旭川〜名寄間が高速化されており、特急が運行されています。旭川まで1時間を切り、特急「宗谷」号であれば、札幌まで2時間30分を切る速さで移動することができ、都市間の貴重な移動手段となっています。



表：宗谷本線輸送人員

公共交通を守っていくために

公共交通を担うものとして、バスと鉄道があげられます。どちらも民間企業が運営しており、持続してサービスを提供していくためには、一定程度の利用者が必要です。

私たちの移動手段の選択肢が狭くならないよう、通勤や出張で利用するなど上手に活用し、存続していく必要があります。



市内循環バス



JR 名寄駅

バス・鉄道の特色

バスの特色としては、短距離移動や柔軟なダイヤ編成で、鉄道にはないサービスの提供が可能です。

一方、鉄道の特色は、何と云っても大量輸送が可能なこと。朝の通学など、鉄道の特色を十分に発揮できる場面が多くあります。また、名寄駅では特急列車の乗車数も少なくありません。

みんなで利用してみよう

バスや鉄道に乗ると、普段の自家用車での移動では、運転に集中して周りの景色などに気が留めていないことにあらためて気が付きます。バスや鉄道を移動するためだけに利用するのは非常にもったいないと感じます。雄大な大自然の景色など、車窓からゆっくり眺めて過ごす日があっても良いと思います。

お子さんが小さい方は、名寄郊外へ走るバス路線がお勧めです。乗り物が好きなお子さんは、喜んでくれることと思います。休日の家族イベントとして利用してみてもいいかもしれません。



みんなで乗れば、未来が変わる。

考えよう。行動しよう。公共交通の未来

問い合わせ

総合政策課総合政策係
企画課企画調整係

（両係とも名寄庁舎3階）

☎01654③2111
（内線3312）